

ニュース高等専修

文部科学省委託事業／高等専修学校における高等教育機関と接続した
モデル・カリキュラム開発と就労支援システムの構築

平成26年度成果報告会開く



『高等専修学校における高等教育機関と接続したモデル・カリキュラム開発と就労支援システムの構築』～産学官連携コンソーシアム・職域プロジェクト～の成果報告会が2月19日、東京・千代田区九段北のアルカディア市ヶ谷で開かれました。

初めに全国高等専修学校協会の清水信一会長が「後期中等教育の中で、高等専修学校は高校ではなし得ない職業教育で先進的な取り組みをしています。この事業で高等専修学校が社会から正しく認識されるよう、力を合わせて成果を出して行きましょう」と呼びかけました。

このあと、文部科学省生涯学習政策局の白鳥綱重専修学校教育振興室長が、平成26年度からスタートした職業実践専門課程の認定状況や、新たな高等教育機関の制度化に関する有識者会議の動向等について、あいさつを兼ねて報告しました。

報告会では大岡学園高等専修学校の大岡豊理事長がコンソーシアム事業の取り組みや成果の活用、次年度の課題等について概略を説明しました。

それによるとモデル・カリキュラムの開発（モデル・カリキュラム開発分科会）、就労支援

システムの構築（就労支援システム分科会）、インターンシップ及びデュアルシステム実施に関する実態調査（調査研究分科会）などを行ったほか、実証講座、職域プロジェクトとの連携、職域プロジェクトと共催で成果報告会も実施されました。

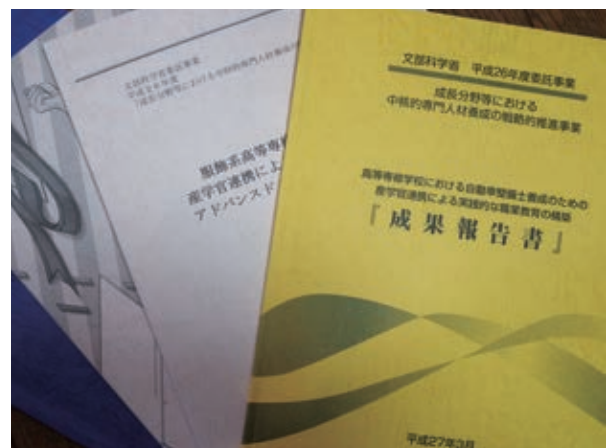
また次年度へ向けては、①専門学校や大学等の高等教育機関との接続②インターンシップ等の実施に向けた広報・啓発活動③モデル・カリキュラムを導入した実践的な実証講座の実施④職種 mismatches を防ぐ早期からのキャリアカウンセリングの導入—などと積極的に取り組んでいくことにしています。

続いて、職域プロジェクト事業5分野の成果報告が行われました。IT・ビジネス分野は郡山学院高等専修学校（代理・大岡学園）、自動車分野は大阪技能専門学校、調理衛生分野は大育高等専修学校、服飾分野は細谷高等専修学校、福祉分野は大岡学園高等専修

学校がそれぞれ担当して事業の成果を報告しました。

成果報告の最後に調査研究分科会が実施した「高等専修学校における体験型職業教育と外部との連携に関する実態調査」の結果も報告され、次年度に向けたインターンシップ等の課題も浮き彫りになりました。

会場では各職域プロジェクトの『成果報告書』が用意され、参加者は各報告書を手にとって持ち帰りました。



第24回全国高等専修学校体育大会 10競技38種目で熱戦繰り広げる



開会式であいさつする(左上から時計回りに)赤池誠章文部科学大臣政務官、全国高等専修学校協会・清水信一会長、NPO高等専修教育支援協会・堀居英治理事長、文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室・倉本光正室長補佐

高等専修学校生のスポーツの祭典「第24回全国高等専修学校体育大会」(全国高等専修学校協会、特定非営利活動法人NPO高等専修教育支援協会主催、全国高等専修学校協会体育振興委員会主管、文部科学省、山梨県、富士吉田市、富士河口湖町、忍野村、公益財団法人JKA、専門学校新聞社後援)が7月28日から3日間、山梨県富士吉田市の富士北麓公園体育館をメイン会場に開かれました。

このスポーツの祭典は平成3年、高等専修学校相互の交流とスポーツを通して健全な精神の涵養、体力の向上などを目的に4競技でスタート。回を重ねるごとに参加選手、競技種目も増え、平成15年から公益財団法人JKAによる「競輪公益資金」の補助を受けて盛大に開催しています。

大会には福島、東京、大阪、兵庫など11都府県20校の選手が参加。軟式野球、バレーボール、バスケットボール、フットサル、陸上競技、自転車競技など10競技38種目で熱戦が繰り広げられました。

昨年世界文化遺産に登録された富士山の北麓公園体育館で開かれた開会式には、大会役員や選手ら約700人が出席。主催者を代表して全国高等専修学校協会の清水信一会長が、「本日の体育大会で高等専修学校の存在と君たちが頑張る姿を全国の仲間、そして多くの人にアピールできればこんなに素晴らしいことはありません。この大会が高等専修学校の振興と発展につながることを願っています」とあいさつしました。



またNPO高等専修教育支援協会の堀居英治理事長は「大会の運営は多くのボランティアの先生方に支えられています。来賓や大会関係者、保護者ら一人ひとりに感謝の気持ちを伝えましょう」と呼びかけたあと、全員で「宜しくお願いいたします」と大きな声であいさつを交わしました。

続いて来賓を代表して、自由民主党の赤池誠章参議院議員、文部科学省生涯学習政策局専修学校教育振興室の倉本光正室長補佐が祝辞を述べました。

赤池参議院議員は「ずく(根性)を出してやれし」「たっしゅ(元気)でようごいす」という地元・甲州弁で選手を激励。「2つの言葉にはこれ

までの成果を存分に発揮し、元気で怪我無く頑張ってほしいという意味が込められています。この大会が盛大に終わることを祈念します」と述べました。

また倉本室長補佐は「大会に参加できる喜び、これまで応援してくれた家族、熱心に指導していただいた先生方への感謝の心を忘れずに、若者らしい澁刺としたプレーを期待しています」と祝辞を述べました。

これに答えて、東朋高等専修学校(大阪)の上田篤選手、ヨコスカ調理師専門学校高等課程(神奈川)の湯本あゆみ選手が「感謝する気持ちを持ち、正々堂々とプレーすることを誓います」と選手宣誓を行い、各種目で熱い戦いが繰り広げられました。

熱戦が展開された大会では、大竹高等専修学校(東京)が男女バレーボール、フットサル、女子自転車競技、男女駅伝競走の6種目を制したほか、町田調理師専門学校高等課程(同)が男女バドミントン、専門学校野田鎌田学園高等課程(千葉)が女子バスケットボール、陸上男子400メートルリレーの2種目で優勝しました。また、専門学校野田鎌田学園高等課程の井上真選手(男子の部)が陸上競技の100メートル、走り高跳び、走り幅跳びで3冠を達成するなど健闘しました。

なお、各種目の準優勝チームには専門学校新聞社から準優勝トロフィーが贈呈されました。



成績結果

■軟式野球

①大和商業高等専修学校②東放学園高等専修学校

■バレーボール

①大竹高等専修学校②生蘭高等専修学校

【女子】①大竹高等専修学校②東放学園高等専修学校

■バスケットボール

【男子】①ヨコスカ調理師専門学校高等課程②大和商業高等専修学校③大竹高等専修学校

【女子】①専門学校野田鎌田学園高等課程②安城生活福祉高等専修学校③大竹高等専修学校

■卓球

【男子】▼団体①武蔵野東高等専修学校②生蘭高等専修学校

▼個人①田中大樹(大和商業高等専修学校)②平田一樹(同)③安田直樹(郡山学院高等専修学校)大越亮大(同)

【女子】▼団体①郡山学院高等専修学校②生蘭高等専修学校

▼個人①大森望(細谷高等専修学校)②上野奈央(郡山学院高等専修学校)③苅部叶佳(横浜デザイン学院高等課程)酒向美海(生蘭高等専修学校)

■フットサル

①大竹高等専修学校②大和商業高等専修学校

■自転車

【男子】▼団体①専修学校中部国際自動車大学校高等課程②大竹高等専修学校③武蔵野東高等専修学校

▼個人①小俣拓也(生蘭高等専修学校)②佐藤健太(武蔵野東高等専修学校)③細川伸二(大竹高等専修学校)

【女子】▼団体①大竹高等専修学校②生蘭高等専修学校

▼個人①古川玲菜(大竹高等専修学校)②中村光菜(同)③山本珠里華(同)

■バドミントン

【男子】▼団体①町田調理師専門学校高等課程②大和商業高等専修学校

▼個人①井口隆尋(デザインテクノロジー専門学校高等課程)②友崎純人(町田調理師専門学校高等課程)③伊東瞭一(同)鈴木馨月(大和商業高等専修学校)

【女子】▼団体①町田調理師専門学校高等課程②生蘭高等専修学校

▼個人①三浦詩織(町田調理師専門学校高等課程)②高木二葉(同)③添野愛深(東京多摩調理製菓専門学校高等課程)鶴田茜(横浜デザイン学院高等課程)

■スポーツ吹矢

▼団体①生蘭高等専修学校②武蔵野東高等専修学校③大竹高等専修学校

▼個人①小林光希(生蘭高等専修学校)②飯泉史也(武蔵野東高等専修学校)③渡邊一実(生蘭高等専修学校)

■駅伝競走

【男子】①大竹高等専修学校②武蔵野東高等専修学校③生蘭高等専修学校

【女子】①大竹高等専修学校②大和商業高等専修学校

■陸上

▼種目別成績結果

【男子】▽100m決勝=①井上真(専門学校野田鎌田学園高等課程)②岩苔一樹(大和商業高等専修学校)③西岡勇太(専門学校野田鎌田学園高等課程)

▽200m決勝=①岩苔一樹(大和商業高等専修学校)②西岡勇太(専門学校野田鎌田学園高等課程)③松山拓未(生蘭高等専修学校)

▽400m決勝=①星佑有也(郡山学院高等専修学校)②松山拓未(生蘭高等専修学校)③長澤圭樹(同)

▽800m決勝=①新田崇文(郡山学院高等専修学校)②鈴木宙樹(大竹高等専修学校)③蓮沼千尋(武蔵野東高等専修学校)

▽1500m決勝=①新田崇文(郡山学院高等専修学校)②鈴木宙樹(大竹高等専修学校)③木津俊輝(生蘭高等専修学校)

▽5000m決勝=①木津俊輝(生蘭高等専修学校)②高倉雅人(武蔵野東高等専修学校)③高橋篤(同)

▽4×100mリレー決勝=①専門学校野田鎌田学園高等課程②大竹高等専修学校③大和商業高等専修学校

▽走り高跳び=①井上真(専門学校野田鎌田学園高等課程)②石川里央(同)③齋藤勇貴(大和商業高等専修学校)

▽走り幅跳び=①井上真(専門学校野田鎌田学園高等課程)②足立悟司(生蘭高等専修学校)③川島輝哉(大和商業高等専修学校)

▽砲丸投げ=①喜渡良彦(大竹高等専修学校)②川島輝哉(大和商業高等専修学校)③田中成樹(大竹高等専修学校)

【女子】▽100m決勝=①植村未来(大和商業高等専修学校)②山本珠里華(大竹高等専修学校)③神山里奈(大和商業高等専修学校)

▽200m決勝=①岡島萌季(生蘭高等専修学校)②深津楽和(大和商業高等専修学校)③西中舞(生蘭高等専修学校)

▽400m決勝=①深津楽和(大和商業高等専修学校)②丹波琴美(生蘭高等専修学校)③岡島萌季(同)

▽800m決勝=①神山里奈(大和商業高等専修学校)②奥山叡子(大竹高等専修学校)③丹波琴美(生蘭高等専修学校)

▽1500m決勝=①神山里奈(大和商業高等専修学校)②奥山叡子(大竹高等専修学校)③丹波琴美(生蘭高等専修学校)

▽走り高跳び=①本田愛(大和商業高等専修学校)山本珠里華(大竹高等専修学校)

▽走り幅跳び=①山本珠里華(大竹高等専修学校)②植村未来(大和商業高等専修学校)③深津楽和(同)

▽砲丸投げ=①植村未来(大和商業高等専修学校)②古川玲菜(大竹高等専修学校)

平成 26 年度 高等専修学校への都道府県の助成状況

県名	運営費補助 @…生徒一人あたり	設備費補助	生徒への助成	授業料軽減	本会 会員校数	H26 高等課程 生徒数
☆ 北海道	学校法人立指定校・技能連携校 @62,574 円		○		5	1278
	その他学校法人立 @39,542 円					
☆ 青森	学校法人立（生徒数が収容定員の3分の1以上等） @27,250 円		○	○		213
	非学校法人立（生徒数が収容定員の3分の1以上等） @12,324 円			○		
岩手	学校法人立 @35,960 円				3	124
☆ 宮城	学校法人立指定校 1校60万円と @31,734 円	○			1	37
	その他学校法人立 @19,735 円					
秋田	学校法人立 @34,680 円		○			86
山形	学校法人立指定校・技能連携校 @70,399 円		○	○	3	31
	学法立以外 @10,784 円			○		
☆ 福島	学校法人立指定校 @46,000 円			○	7	849
	その他学校法人立 @22,500 円			○		
	非学校法人立指定校 @15,000 円			○		
	その他非学校法人立 @7,500 円			○		
☆ 茨城	学校法人立 @60,000 円				1	592
栃木	学校法人立 専修学校及び各種学校総額 43,710千円				2	600
群馬	学校法人立・財団法人立指定校 @79,070 円				2	385
	学校法人立・財団法人立非指定校 @19,710 円					
☆ 埼玉	法人立 @75,710 円		○	○	3	843
☆ 千葉	学校法人立 @166,251 円		○	○	4	780
☆ 東京	学校法人立 @155,400 円	○	○	○	31	2991
	非学校法人立 @51,700 円			○		
	私立専修学校障害児教育事業費補助金(1) @392,000 円					
神奈川	学校法人立 @118,721 円			○	7	1918
	非学校法人立 @21,000 円			○		
☆ 新潟	学校法人立 @21,200 円		○	○		137
☆ 富山	知事特認校加算 350万円	○	○		1	152
	学校法人立 1校100万円					
	学生生徒割（専修学校総額） 470万円					
石川	学校法人立指定校・非指定校含む @27,100 円	○	○			75
福井	学校法人立指定校 @45,000 円			○	2	131
山梨	学校法人立（県内生） 1校50万円と @4,000 円					80
	学校法人立（県外生） 1校50万円と @2,000 円					
長野	学校法人立 @46,440 円			○	3	256
☆ 岐阜	学校法人立技能連携校 @59,517 円		○	○	6	811
☆ 静岡	学校法人立 @88,700 円	○	○		11	1373
☆ 愛知	学校法人立 @130,200 円		○	○	25	7775
	非学校法人立 1校978,600円			○		
☆ 三重	学校法人立指定校 1校15万円と @28,030 円		○	○	1	698
	学校法人立非指定校 @18,630 円					
滋賀	学校法人立技能連携校 @80,000 円		○		1	94
京都	学校法人立（修業年限3年以上） 1校270万円	○		○		586
	学校法人立（修業年限3年未満） 1校230万円					
	複数学科加算分 1学科55万円					
☆ 大阪	学校法人立 @302,624 円	○	○	○	23	5262
☆ 兵庫	学校法人立指定校 @162,000 円			○	18	1670
奈良	学校法人立 1校150万と @34,000 円			○	8	432
和歌山	学校法人立 @30,000 円	○				109
鳥取	（専修学校全体）16校 総額 1,424万7千円			○	6	301
	（そのうち、技能教育施設）4校 総額 8,596万5千円					
☆ 島根	学校法人立指定校 @101,719 円	○		○		131
	学校法人立非指定校 @22,000 円			○		
岡山	学校法人立	○	○		3	251
広島	学校法人立（3年制） @36,000 円			○	5	1195
山口	学校法人立指定校 @70,000 円		○		1	621
徳島			○	○	1	216
香川			○			183
愛媛						275
高知	学校法人立 @21,160 円			○	2	49
福岡	学校法人立指定校 @22,500 円	○	○		3	2706
佐賀	学校法人立 @11,262 円	○	○		3	763
長崎	学校法人立 @6,300 円					464
熊本	学校法人立指定校 @15,000 円		○		5	869
大分						441
宮崎	学校法人立 @183,785 円	○	○		2	600
鹿児島	（学校法人立専修学校全体） 総額 3,322万1千円				2	115
☆ 沖縄	学校法人立指定校 @55,000 円			○	2	509

(1) 交付年度5月1日現在障害児が在籍。

(☆印は前年度比単価等が増額した都道府県)

H26 会員校数
203H26 生徒数
40,057

発行：全国高等専修学校協会

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25(私学会館別館)
TEL.03(3230)4814 FAX.03(3230)2688